

『コロナ禍が加速する持続可能な社会』

# コロナ禍から見えた社会変革の課題

総合地球環境学研究所・阿部健一



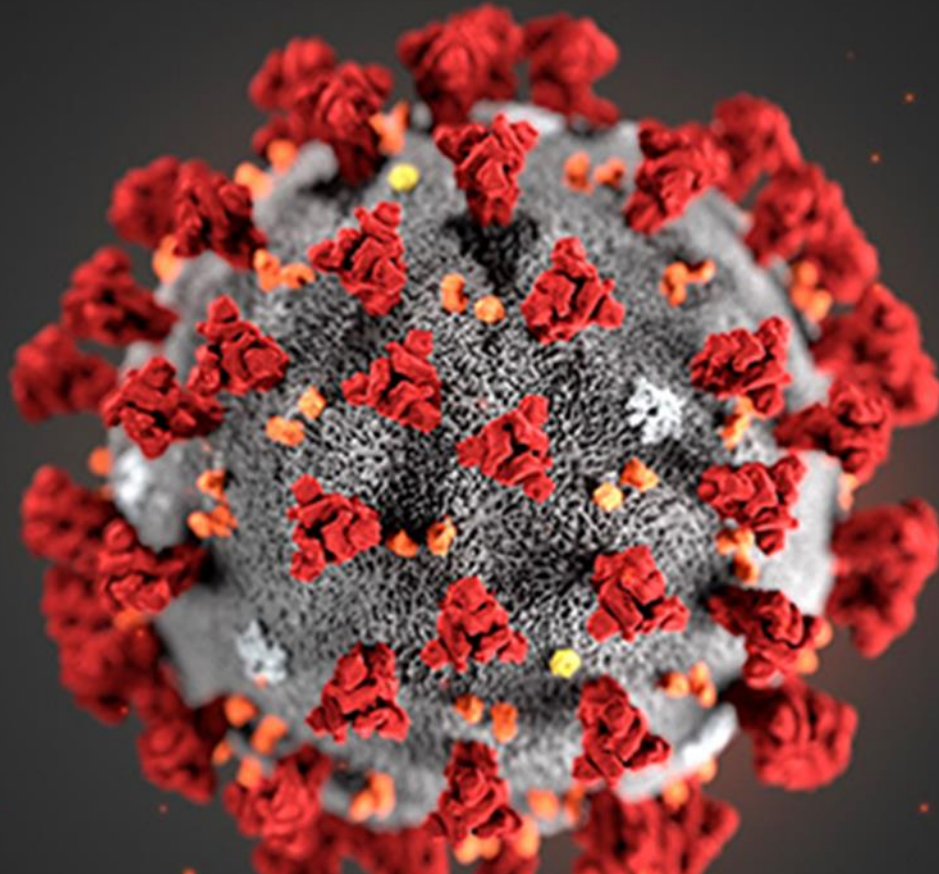
Research Institute for Humanity and Nature (RIHN), Kyoto, Japan

# ウイルス

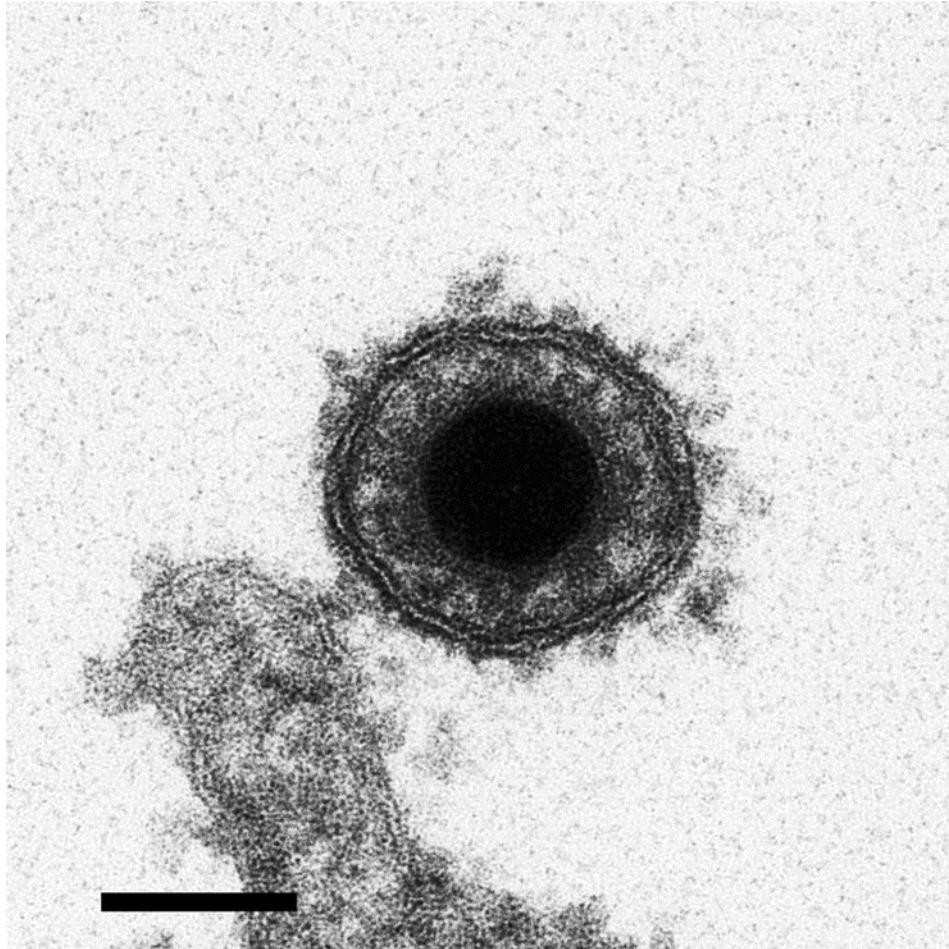
およそ人類が知る限りもっとも「下等」な生物

新型コロナウイルスSARS-CoV-2 アメリカ疾病予防管理センター作成

提供:アフロ



# Cyprinid herpesvirus 3



Benjamin Michel et al. 2010

# コイヘルペス

- コイに特異的
- 発症すると、ほぼ100%の致死率
- 1998年 イスラエルで確認  
その後ヨーロッパ・北米 そしてアジア  
2003年 日本
- 罹患したかどうかはPCR検査
- ワクチン開発



# 地球研プロジェクト『病原生物と人間の相互作用環』 2007-2011 代表:川端善一郎

## プロジェクト課題

ヒトや家畜や野生生物の感染症の発生と拡大は、人類が直面するきわめて深刻な地球環境問題である。プロジェクトでは、コイヘルペスウイルス(KHV)感染症をモデルとし、「**人間による環境改変**が感染症の発生と拡大を引き起こす」ことを実証的研究に基づいて明らかにする。

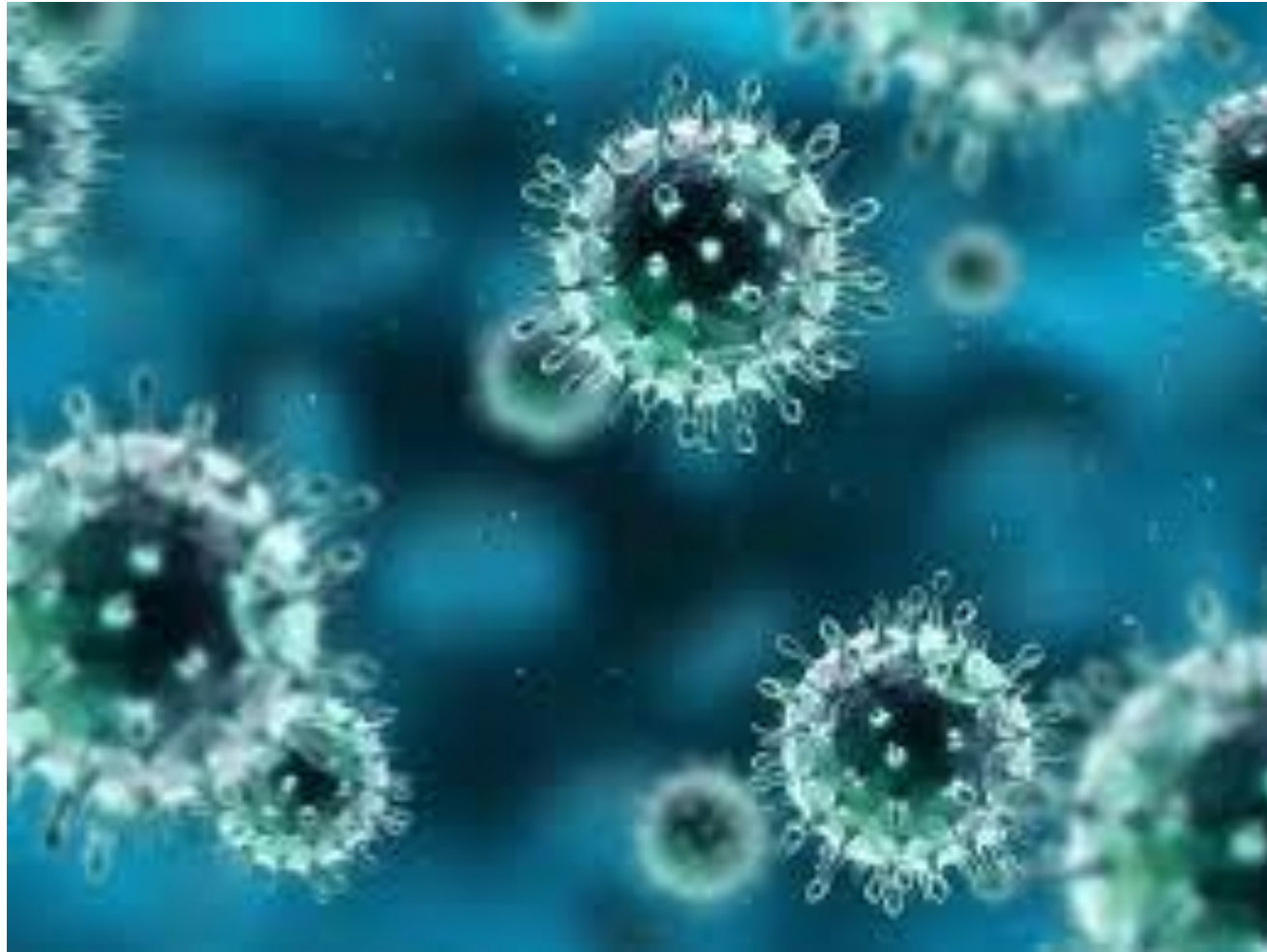
⇒ほぼ実証

Covid-19は……





# A型インフルエンザ・ウイルス (鳥インフルエンザ・ウイルス)



Credit: THINKSTOCK

Research Institute for Humanity and Nature (RIHN), Kyoto, Japan



# 鳥インフルエンザ

- ・1878年イタリアで最初に報告され、1955年にインフルエンザウイルスとして分類された。
- ・1900年代、ヨーロッパ、ロシア、アフリカ、中東、アジア、南米アメリカ等で発生が確認された。
- ・アメリカ(1983年)、メキシコ(1983年)およびイタリア(1999年)で弱毒ウイルスが強毒に変異し、多くの家禽が処分された。

(FAO駐日事務所HP)

500億羽

大量殺処分

cf 1700万頭

ure (RIHN), Kyoto, Japan



# コロナ:「環境問題へのリハーサル」

環境問題 ⇒ 社会転換 (KLaSiCa)

BAU

新型コロナ時代 『新しい生活様式』

このままでは・・・

(1) 新たな「新型コロナ」の発生を抑制する社会システム

(2) 何を捨て、何を守るか、を考える

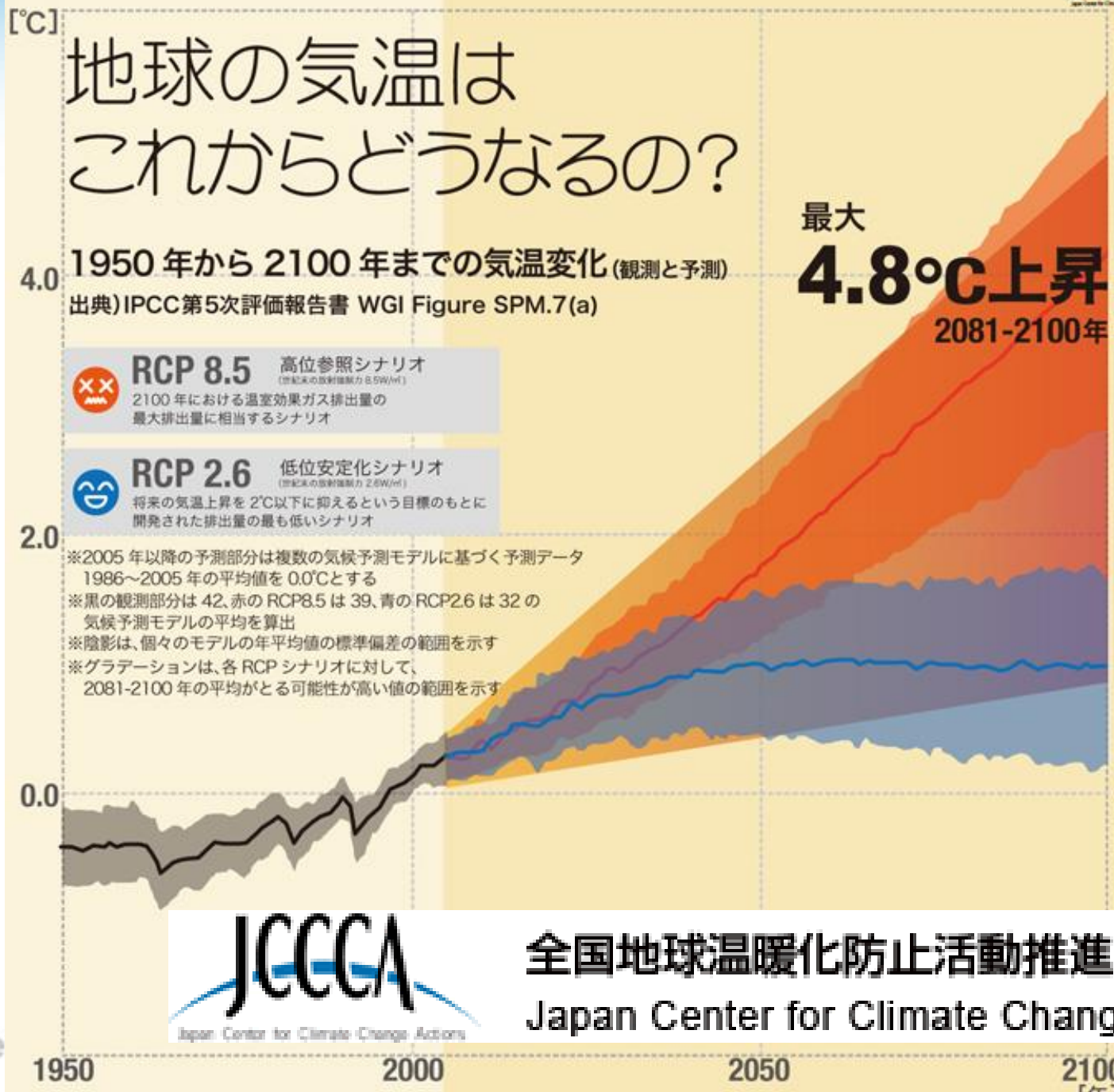
変えるべきものと変えてはいけないもの

⇒ 新たな「豊かさ」を考える

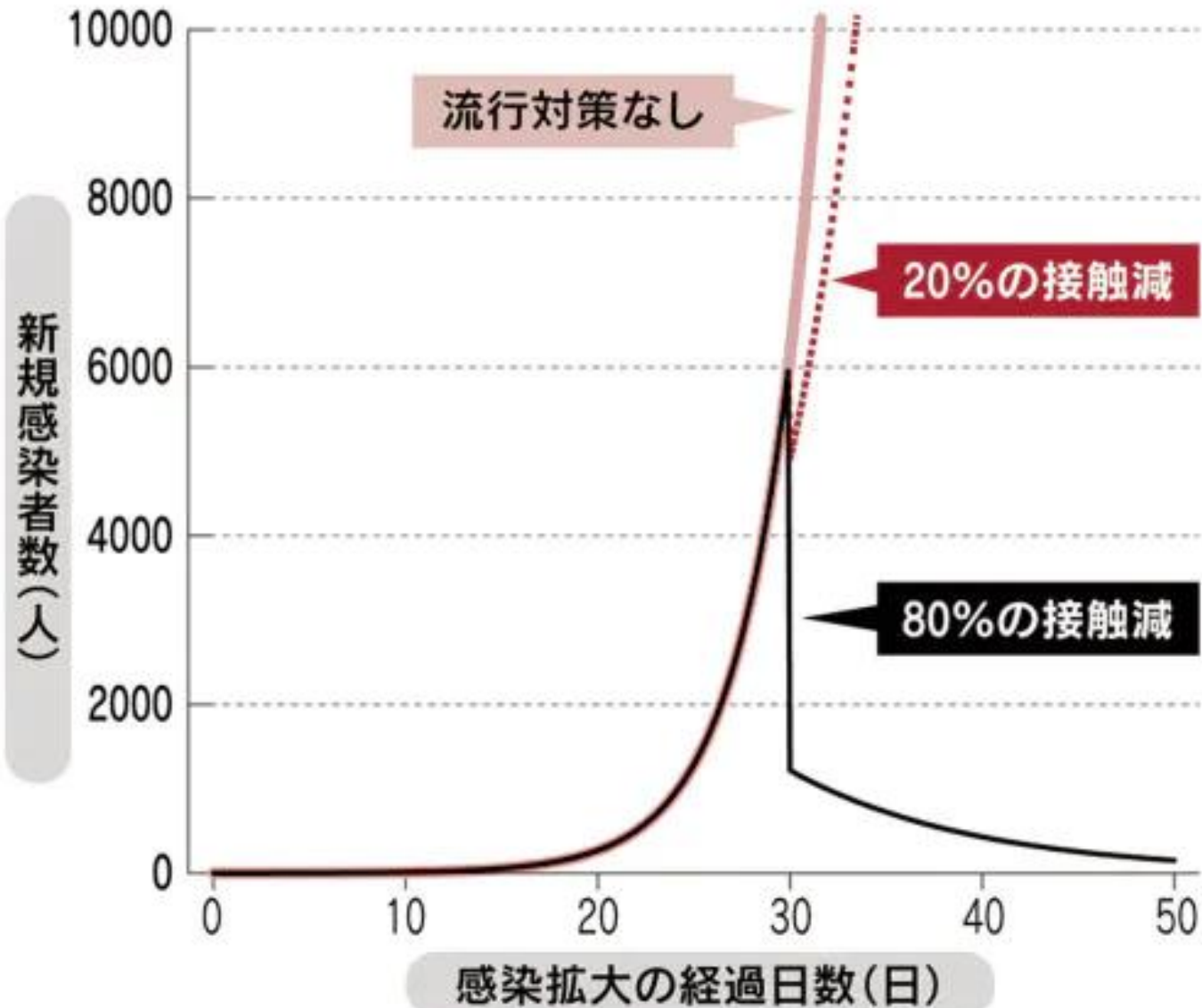
問題解決 ⇒ 価値創出







# 接触8割減なら感染爆発を抑制



(注) 西浦博・北海道大教授の試算を基に作成



# 豊かさを考える

## (1) 新たな社会システムへ

ひとつだけ大きな(潜在的な)方向性を挙げるとすれば

集中⇒分散

たとえば花卉園芸(昭和村・菅家さん)







# 豊かさを考える

## (2) 変えるべきもの・変えてはいけないもの

価値の遠近法：鷺田清一

「価値の遠近法」とは、あらゆる事象・物事を次の四つに分けることである。

- ①絶対に必要なもの、失ってはならぬもの
- ②あってもいいけどなくてもいいもの
- ③なくてもいいもの
- ④絶対に不要なもの、あってはならないもの

4つのどれであるか判断する能力：教養





# 豊かさを考えること どれか一つが正しいのではない

## 方法も一つではない

裕福で権力のある大人たちへ

KYOTO地球環境の殿堂



[gizmodo.jp](http://gizmodo.jp)



### 「対立」を鮮明にするのはひとつの方法である

Research Institute for Humanity and Nature (RIHN), Kyoto, Japan

しかし……



# 京都の高校生が考えていること



# 京都の高校生が考えていること

## プラスチックは本当に「悪い」のか

京都府立洛北高等学校 塚田 真菜望、久保 絵梨香

### 目的・仮説

7月からレジ袋の有料化がはじまった中、コロナの影響で多くのお店がテイクアウトやデリバリーサービスを始め、テイクアウト容器の使用量が増加した。

### プラスチック削減社会に悪影響を及ぼすのか？

ほとんどのお店はプラスチックや発泡スチロールの容器を使っているが、一部のお店は環境面を考えて、エコバッグ持参の呼びかけやプラスチック以外を使った容器を使っていると思われる。



# 聞いてみよう！

## 丸亀製麺

- ・テイクアウトのうどんの容器はプラスチック、天ぷらの容器はほとんどが紙製。
- ・うどんはだしと麺が混ざりおいしくなくなるのを防ぐために容器を二重に。
- ・天ぷらは紙の方が水蒸気がこもりにくく、おいしく食べられる。
- ・何事もお客の安心安全を第一に。
- ・いかに商品の値段を変えずに環境にやさしくできるかの調節が難しい。





# 聞いてみよう！

## マクドナルド

- ハンバーガーの包み紙は紙。  
→ たたんで小さくでき、ごみの量を減らせるから。
- アイスコーヒーのカップはプラスチックから紙へ。
- 環境に良いことだけをするのが持続可能な社会の実現なのではなく、環境と経済、
- そしてお客の参加意識がないと続かない。プラスチックは環境に悪いと断定せず、
- なぜ悪いのか、解決するにはどうしたらいいのかを正しく理解し、行動することが大切。





# 聞いてみよう！

## 中央化学株式会社

- ・個人飲食店で、カレー、丼ぶり、パスタの注文が急増
- ・大手では、お客のニーズを反映した特注品も増加。
- ・試食用の皿や舟皿、バイキング用の容器が激減。
- ・容器の回収も大切だが、作る段階での配慮も大切。  
⇒軽量化、薄肉化、バイオマス原料を使用。
- ・プラスチック全てが悪いと考えるのではなく、正しい。  
理解のもと、賢く使うことが大切。



# エフピコチューパ株式会社

- ・環境に配慮したプラスチックや紙製容器の出荷が増加。
- ・持ち帰り用パック、大型オードブル、仕出し容器などが減少。
- ・最近ではバイオマスプラスチックに注目が集まっているが、直接的なプラスチックごみ問題の解決の切り札にはならない。
- ・プラスチックはフードロスの削減にも貢献しているためひとくりに禁止ではなく、分別リサイクルで回すことが最善。

# シーピー化成株式会社

- ・店舗によって様々な用途やイメージに沿うようにたくさんの種類がある。
- ・食の安全を考えたらうえでプラスチックは最適であると考えているが、昨今の情勢により紙の容器も製造。
- ・プラスチックの負の面ばかりがクローズアップされていると思う。当社では3Rや容器の軽量化、バイオマスプラスチック、紙の容器の研究を行っている。



Research Institute for Humanity and Nature (RIHN), Kyoto, Japan

